

あなたと共にあゆむ



議会 だよ

No. **135**
2003年6月5日発行

[3月定例会]



雪がとけたばかりの湿った土を踏んでいくと、沢筋の急な斜面に「のの字」の若芽がたくさんならんでいる。先が巻いて白い綿毛をかぶっているゼンマイは、山菜の王といってもよい。森が新緑に包まれはじめる頃、群生するゼンマイを求めて山にはいる人が多い。

- ◇一般会計 平成15年度今別町当初予算 2～4
- ◇3月議会のあらまし 条例・予算・専決その他 2～4
- ◇一般質問 「各町村との町村合併意見交換とその反応」他（3名） 5～12
- ◇レポート 青森地域広域事務組合・青森地域広域消防事務組合 12～13
- ◇陳情及び研修 13～14
- ◇国道280号(鬼泊トンネル)の改良整備について 14
- ◇秋田県小坂町を視察・臨時議会 15
- ◇議会のうごき他 表彰・ざんじきゅうけい 16

645万円

3月定例会できまっただこと 7日～13日

第341回、3月定例会は3月7日召集され、13日までの7日間の会期で開催されました。

今議会は新年度予算を審議する議会でもあり、小鹿正義町長の施政方針のもと提案された平成15年度の一般会計をはじめ各種特別会計など7件の予算、平成14年度の補正予算、今別町税条例の一部改正など23件、いずれも原案どお

り可決されました。

また、議員発議の意見書を採択しました。また、今議会には3人の議員から一般質問があり、町政のあり方や将来にむけて進めるべき方向について質疑をいたしました。

条例関係

職員の定期昇給 55歳で停止

平成15年4月1日施行

●今別町介護保険条例の一部改正

介護保険料が4年目の見直し時期にあたり、平成15年度から平成17年度までの保険料が、年基準額で549円、22%の引き上げとなりました。

●今別町職員の給与に関する条例の一部改正

現下の財政事情に鑑み、町職員の定期昇給停止年齢を、55歳とするもの

●今別町重度心身障害者医療費助成条例の一部改正

健康保険法の一部が改正する法律の施行に伴い改正するためのもの

●今別町ひとり親家庭等医療費助成事業実施要領

●今別町介護保険条例の一部改正

青森県ひとり親家庭等医療費助成事業実施要領の一部改正に伴い改正するためのもの

●今別町奨学金貸与基金条例の一部改正

今別高校活性化補助金との整合性を図るためのもの

第6条第1項第1号中「1万5千円」を「1万5千円以内」に改める。

●今別町課設置条例の一部改正

機構改革により事務の効率化と住民サービスの向上を図るためのもの

「企画政策課」を「企画振興課」に改め、「商工振興課」を削る。

15年度 予算関係

●一般会計

歳入歳出それぞれ予算総額27億1,645万8千円とした。

歳入の主なもの、町税2億6,888万円、

地方交付税14億5千万円、基金繰入金3億504万円、

町債3億3,290万円

歳出では、町おこし事業200万円、今別高校支援対策費118万8千円、今別診療所赤字補填1千万円、水道事業会計繰出金1,921万7千円。

●国民健康保険特別会計
事業勘定

歳入歳出それぞれ、予算総額4億6,504万5千円とした。

歳入の主なもの、保険税1億4,178万円、

療養給付費等負担金1億4,092万円、財政調整交付金5,875万円、

療養給付費交付金3,342万円、一般会計繰入金5,939万円。

歳出では、療養給付費2億4,387万円、保

険給付費2,967万円、老人保健搬出金1億1,

381万円、介護給付費納付金2,530万円、

共同事業拠出金1,411万円。

●国民健康保険特別会計
診療施設勘定

歳入歳出にそれぞれ、予算総額2億1,711万円とした。

歳入の主なもの、国保診療報酬1億7,288万円、一部負担金3,

359万円、一般会計繰入金1千万円。

歳出では、医業費1億2,803万円。

●老人保健特別会計

歳入歳出それぞれ予算総額5億7,083万4

一般会計 27億1,645万円

千円とした。

歳入の主なものは、支払基金交付金3億6,799万円、医療費負担金1億6,898万円、一般会計繰入金3,384万円。

歳出では、医療給付金5,707万8千円。

●介護保険特別会計・保険事業勘定

歳入歳出それぞれ、予算総額2億9,379万円とした。

歳入の主なものは、介護保険料4,561万9千円、介護給付費負担金5,500万円、調整交付金1,837万円、介護給付費交付金9,075万円、介護給付費負担金3,437万5千円、介護給付費繰入金3,437万5千円、一般会計繰入金1,230万2千円。

歳出では、保険給付費2億7,500万円。

●介護保険特別会計・介護サービス事業勘定

歳入歳出それぞれ予算総額3億6,686万7千円とした。

歳入の主なものは、サ

ービス収入2億1,764万8千円、一般会計繰入金1億3,341万1千円。

歳出では、施設管理費2億81万円、サービス事業費1億2,685万4千円、公債費3,160万3千円。

●水道事業会計

収益的収入及び支出については、収入額1億1,611万1千円、支出額1億2,467万1千円。

資本的支出では、4,483万7千円。

●青森地域広域事務組合規約の変更

平成14年12月から、組合の構成町村が可燃ごみを青森市に委託して処分することから、一般廃棄物の収集運搬に関する事務を削除するためのもの。

●公有水面埋立て

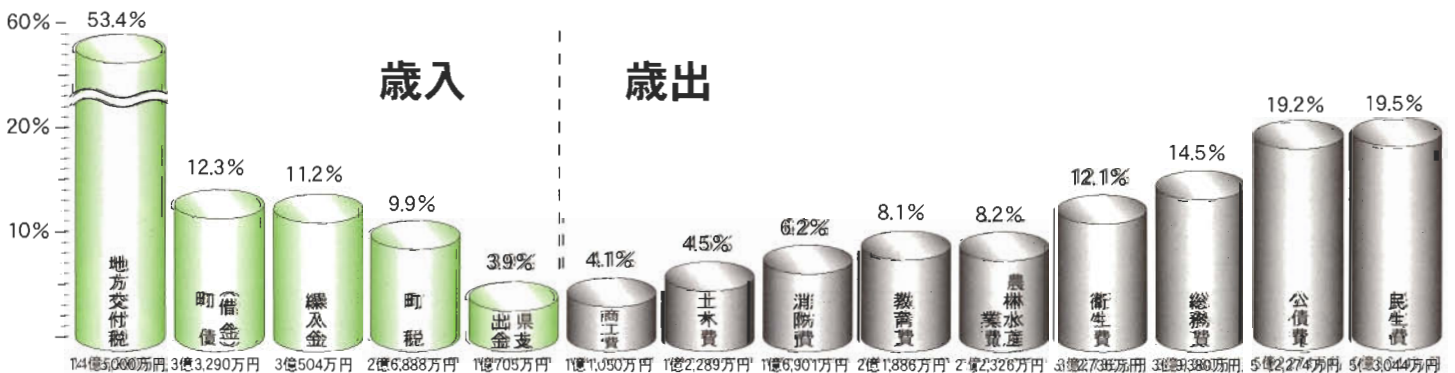
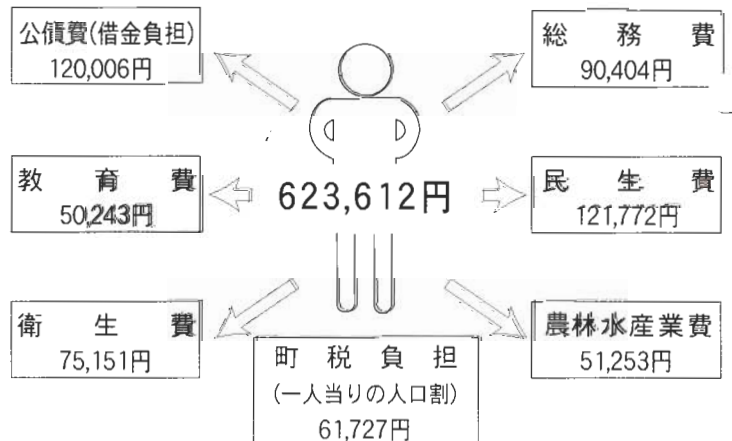
国道280号線の拡幅工事に伴い、今別町大字奥平部字砥石と隣接する公有水面を埋め立てるもの。

その他

平成15年度当初予算のあらまし

会計名	予算額	前年度比	
一般会計	27億1,645万円	8.8%減	
特別会計	国民健康保険	4億6,504万円	6.1%増
	老人保健	5億7,083万円	8.9%減
	診療施設	2億1,711万円	1.5%増
	介護保険	2億9,379万円	18.7%増
	介護サービス事業	3億6,686万円	3.5%増
水道事業会計	収益的収入	1億1,611万円	12.4%増
	収益的支出	1億2,467万円	0.17%減
	資本的収入	—	100%減
	資本的支出	4,483万円	13.8%増

町民(4,356人)一人当りの一般会計状況



平成15年度予算建設事業概要 (当初)

(単位：千円)

14 年度
予算関係

区分	事業名等	事業費	備考
補助	農業施設基盤整備促進事業	34,626	大開・母沢・ドロ沢地区かんがい排水施設
	小計①	34,626	
単	カーブミラー設置工事	512	2箇所
	ADSL電話回線敷設工事	30	
	福祉安心電話設置工事	63	
	排水路改修工事	3,000	大川平地区
	開発センター暖房配管等修繕工事	2,015	
	林道改修工事	1,000	
	植樹祭地拵工事	200	
	町有林下刈事業	769	
	街路灯新設工事	2,258	5基
	街路灯撤去工事	252	8基
	町道維持管理工事	15,000	
	消火栓標識設置工事	1,000	
	今別小学校改修工事	7,640	
	教員住宅償還金	1,509	
小計②	35,248		
負担金	県営ため池等整備事業負担金	28,407	大川平地区
	漁港整備事業負担金	28,620	公共
	急傾斜地崩壊対策事業負担金	10,000	公共袋月・奥村元地区
	急傾斜地対策事業負担金	4,000	県単 山崎地区
	小計③	71,200	
災害	公共土木災害復旧事業	10,540	過年補助
	小計④	10,540	
合計	①+②+③+④	151,441	

●一般会計補正
歳入歳出にそれぞれ2、812万7千円を減額し、予算総額を30億864万9千円とした。

●国民健康保険特別会計
歳入の主なものは、地方消費税1、129万3千円減額、特別交付税1千500万円増額、原燃サイクル特別対策交付金1千万円減額。

●国民健康保険特別会計・事業勘定補正
歳入歳出からそれぞれ、272万円減額し、予算総額4億7、619万4千円とした。

●国民健康保険特別会計
歳入については、事業の進捗状況により充当額を調整した。

●老人保健拠出金627万6千円減額したほか、事業の進捗状況により所要の経費を調整。

●国民健康保険特別会計・診療施設勘定補正
歳入歳出にそれぞれ66万9千円を増額し、予算総額3億29万9千円とした。

●介護保険特別会計・介護サービス事業勘定
歳入歳出からそれぞれ318万6千円減額し、予算総額3億7、616万4千円増額。

●介護保険特別会計・保険事業勘定補正
歳入歳出からそれぞれ299万9千円減額し、予算総額2億5、661万5千円とした。

●水道事業会計補正
歳入では、水道使用料進捗状況により、所要の額を調整。

●一般会計から
歳入では、一般会計からの繰入金593万2千円減額。

町

政

を

問

う

一般質問

3月の定例会では、3人の議員が登壇し、当面する町の重要課題について町執行部の考えをたどりました。その主な内容を要約してお知らせします。

村元海岸より与茂内海岸までの整備について

質問

国道280号線村元海岸より与茂内海岸までの波しぶき対策及び整備計画はどのようなになっているか伺います。

また、与茂内の決壊している護岸添いに設置されているバリケードにより、月に数回トランプが発生していることから、1日も早く撤去できるようお願いしたい。

長井町答

村元海岸は、高潮対策事業で平成13年度から着工され、現在離岸堤が設置されています。与茂内海岸は侵食対策事業で国へ要

農林水産課長答弁

船揚場については施設の老朽化も著しく、作業に支障をきたしている現状から施設の維持修繕事業により整備していただくよう県へ要望しております。

裏月船揚場の修理と漁港埋立て整備を

質問

裏月は漁場の宝庫でありながら干場がない状況であります。こうなごの大漁のときは高野崎駐車場まで干場を求めていく状態です。干場のない原因としては、漁場を失いたくない思いで漁港埋立てを拒否する方があり埋立て整備が進まないようだが、漁師の所得向上のためにも漁港埋立て整備の要請を復活させるべきと思うがどうか。

また、船揚場の船のすべりの取付けについては業者による取付けが必要であると思うが、町の計画はどうなことから合併を見極めてから合併特例債を考えるのが得策かと思っております。合併する町村と協議しながら町民

平成15年度当初予算編成にあたり、町民センター建設を進めるため県のヒアリングを受けたところ、町村合併の方向が決まらないうちでは図面等の審査ができないとのことでありました。

このようなことから合併を見極めてから合併特例債を考えるのが得策かと思っております。合併する町村と協議しながら町民

長井町答

町村合併についても申し上げているように5町村の合併は分別にとつては有意義なものにはならないと考えています。

平館村との合併については、非常に財政も厳しいことや住民のアンケート結果などを見て、今後さらに議会との協議を重ねながら検討していきたいと考えています。

三厩村との合併は異論はないという考えで進んでいるところです。

三厩村との合併は異論はないという考えで進んでいるところです。

企画政策課長答弁

町民センター建設の状況については全員協議会において報告しているところですが、設計会社が一社決定し、財政運営計画も県より承認をいただいております。

町民センター建設の状況については全員協議会において報告しているところですが、設計会社が一社決定し、財政運営計画も県より承認をいただいております。

質問

平成15年度当初予算編成にあたり、町民センター建設を進めるため県のヒアリングを受けたところ、町村合併の方向が決まらないうちでは図面等の審査ができないとのことでありました。

このようなことから合併を見極めてから合併特例債を考えるのが得策かと思っております。合併する町村と協議しながら町民

平成15年度当初予算編成にあたり、町民センター建設を進めるため県のヒアリングを受けたところ、町村合併の方向が決まらないうちでは図面等の審査ができないとのことでありました。

このようなことから合併を見極めてから合併特例債を考えるのが得策かと思っております。合併する町村と協議しながら町民

このようなことから合併を見極めてから合併特例債を考えるのが得策かと思っております。合併する町村と協議しながら町民

建設課長答

波しぶき対策計画ですが、村元海岸については全体事業費が12億4千万で13年度から護岸工と離岸堤の整備が進められてい

波しぶき対策計画ですが、村元海岸については全体事業費が12億4千万で13年度から護岸工と離岸堤の整備が進められてい

波しぶき対策計画ですが、村元海岸については全体事業費が12億4千万で13年度から護岸工と離岸堤の整備が進められてい

波しぶき対策計画ですが、村元海岸については全体事業費が12億4千万で13年度から護岸工と離岸堤の整備が進められてい

波しぶき対策計画ですが、村元海岸については全体事業費が12億4千万で13年度から護岸工と離岸堤の整備が進められてい

各町村との町村合併意見交換とその反応

宮本 清七 議員

質問

平成15年2月に今別・平館両町村議会議員交流会及び別・三厩両町村議会議員交流会を開催し合併に関する意見交換をしたところでありますが、平館村は蟹田町との距離が近いことや風力発電で当町と協力体制がうまく出来なかったことから、今別との合併は期待できないのではないかと思うものです。また、三厩村は5町村合併を考えているのではないかと思われる

平成15年2月に今別・平館両町村議会議員交流会及び別・三厩両町村議会議員交流会を開催し合併に関する意見交換をしたところでありますが、平館村は蟹田町との距離が近いことや風力発電で当町と協力体制がうまく出来なかったことから、今別との合併は期待できないのではないかと思うものです。また、三厩村は5町村合併を考えているのではないかと思われる

新庁舎建設計画の進まない理由

新庁舎建設計画が持ち上がってから3年の月日が経

新庁舎建設計画が持ち上がってから3年の月日が経

ます。今の予算配分のペースだと平成17年度完成予定であります。

与茂内海岸は、国の侵食対策事業は採択になっていませんが、災害復旧事業により決壊した護岸の復旧と護岸の前に消波ブロックを入れて復旧し、15年度中には完了予定です。

バリエードについては、これまで冬期間で護岸の前に消波ブロックが入っていないため危険防止から施行されていたもので、撤去については現場を確認して検討したいということでご理解願います。

国道 280 号線 危険カーブの 早期整備を

問 旧一本木の危険箇所として岩屋観音崎のカーブ、トンネル周辺の道路の狭い部分、砂ヶ森弁天崎カーブ、川口理髪店前のカーブ、袋月海峡の家から青森よりへのカーブの拡幅について関係機関に働きかけることが大事かと思うがどうか。また、袋月

の七曲りの狭い箇所は山手を半トンネルにするなどの改良はどうかと思うものです。

奥平部地区については平成12年度から工事に着手し、12キロ区間は15年度中に完成予定となっております。砂ヶ森の現在行っている拡幅工事は3月中に完成予定であります。

建設課長 長井
答 袋月七曲り地区はどのような改良の方法がよいかコンサルタントに発注済みと伺っております。ご指摘の危険箇所の改良については、関係機関に強く要望していきたいと考えています。

袋月七曲り地区はどのような改良の方法がよいかコンサルタントに発注済みと伺っております。ご指摘の危険箇所の改良については、関係機関に強く要望していきたいと考えています。

袋月七曲り地区はどのような改良の方法がよいかコンサルタントに発注済みと伺っております。ご指摘の危険箇所の改良については、関係機関に強く要望していきたいと考えています。

廃校を利用した 福祉施設の 整備を

問 高齢化が進み、県や市町村においても老人の福祉施設の整備が追いつけない現状にあると思います。今別でもなかやま荘に入居するのに順番待ちのようです。そこで、大川平二股小学校は自然環境もよいことから、統合によ

り廃校となったら老人施設として整備し、入居者の長生きの場として県外にもアピールするなど、町の産業に結びつけることを考えたかどうか。

廃校となった学校の校舎を老人福祉のために活用すると貴重なご意見であると承っておきたいと思えます。

長井 町答 廃校となった学校の校舎を老人福祉のために活用すると貴重なご意見であると承っておきたいと思えます。

ただ、場所や規模、管理方法などの条件や財政などを勘案し、町の社会福祉協議会の事業との関連などもあることから、今後よく協議しながら検討していく必要があると考えております。

ただ、場所や規模、管理方法などの条件や財政などを勘案し、町の社会福祉協議会の事業との関連などもあることから、今後よく協議しながら検討していく必要があると考えております。

産業廃棄物の 不法投棄 について

問 農地として利用するときは農業委員会に許可申請する必要があるが、農地として申請した箇所に土建業者の産業廃棄物と見られるものがあります。産業廃棄物は、自分の土地であっても許可なく捨てることは違法であります。

農地として利用するときは農業委員会に許可申請する必要があるが、農地として申請した箇所に土建業者の産業廃棄物と見られるものがあります。産業廃棄物は、自分の土地であっても許可なく捨てることは違法であります。

これに対する町の公平な対処がされるべきと思うが説明願います。

農業委員 長井
事務局 町答 ご指摘の土地は「休耕田の再利用」届けがなされている場所かと思えます。農業委員会にも報告があります。去年の8月に農業委員会の総会後に現地を確認し、作業が途中でしたので届出者に連絡をしております。さらに、今年2月には届出者に対して「休耕田の再利用」報告に係る事後状況について通知しております。

その後、届出者と施工業者との打ち合わせをし、15年度中に整理し、その上に客土するという実情であります。今後とも「休耕田の再利用」届けに関しては、厳重に対処して参りたいと思っております。

その後、届出者と施工業者との打ち合わせをし、15年度中に整理し、その上に客土するという実情であります。今後とも「休耕田の再利用」届けに関しては、厳重に対処して参りたいと思っております。

不正工事と談合 の噂について

問 発注工事の不正資材の噂があることは行政の監督不行き届きによるものであり、解明のために関係機関の協力をお願いするも

の噂については、関係機関の協力をお願いするも

の噂については、関係機関の協力をお願いするも

不正なものと思っております。談合についてもあつてはならなし、このような噂がでることが誠に残念です。談合した場合は談合罪が適用されることは業者も認識していると思えます。

行政と業者との癒着等を避けるため入札方法を変えて行っており、今後ともこのような噂のないよう十分注意していきたいと思っております。

行政と業者との癒着等を避けるため入札方法を変えて行っており、今後ともこのような噂のないよう十分注意していきたいと思っております。

町村合併と 職員数について

問 町村合併した場合は職員が数十名余ると思うが、町長は職員の配置等について名案があるのか伺いたい。

町村合併した場合は職員が数十名余ると思うが、町長は職員の配置等について名案があるのか伺いたい。

議員の問題だけでなく、議員の削減についても出されているが、私は合併前の議員削減には絶対反対であります。

三厩と合併した場合、私の試算では70名程度の職員

の余剰人員がでるものと思われまます。ただし、なかやま荘の介護の関係で有資格者の配置が必要であり、ただいま正職員として募集しているところでございます。

町の業者の入札 参加は公平に

問 町の工事は町内の6業者がすべて入札参加できるような金額配分を考えて、公平にしたい。

道路整備、観光整備など三厩村と一体となった陳情や、両町村の業者が協力して工事を行つたら早期完成につながると考えるがどうか。

町発注工事は金額によることなく、すべての業者の参加で入札を行っております。

町発注工事は金額によることなく、すべての業者の参加で入札を行っております。

町発注工事は金額によることなく、すべての業者の参加で入札を行っております。

除雪対策について

質問

除雪についての町民の苦情では、「雪のない朝でも除雪車が走ることで「気になるほどの雪がないときは、前日の道幅より広げ除雪し家の前に硬い雪をどつきり置いていく」というものです。一人暮らしの家庭のことでも考えていただきたい。除雪の業者は毎年同じ箇所を行っているようだが、入札によって同じ箇所になつていないのか伺いたい。

建設課長 弁答

除雪作業は全町を6工区に分け入札により4業者で行っているもので、通常5センチから10センチの降雪で出動ということになっていきます。午前7時ころ完了するよう指導しております。今後とも町民の方々に不便をかけないよう指導して参りますので、ご協力をお願いします。

今別町給食センター食中毒について

質問

新聞報道によると大事件のように感じましたが、大惨事にならず町民も安堵したものと思います。これを機会に、給食センターの職員は清潔で規則正しく職務に当たるといふ厳重な指導をお願いしたい。

教育長 弁答

この度の児童・生徒の集団の嘔吐・下痢等の発生については、町民の皆様にも大なるご迷惑とご心配をおかけしたことを衷心よりお詫び申し上げます。調理員には、常日頃から安全衛生管理の徹底、健康管理、作業の確認、現場での融和等の指導と注意を喚起しております。業務の重要性から今後ともこれらを一層強化し、食の安全信頼の回復に努めて参りたいと考えています。

議員 佐藤 豪

町村合併の最終的段階では住民投票を

質問

町村合併研究会のアンケート結果は合併反対48%、賛成が51%と接近しており、合併の枠組も三厩と2町村合併が22%と1番でありました。住民の意向、アンケートを尊重することは当然ですが、アンケートの取り方によって内容が大きく変わるものと思います。また、今回のアンケートは暮らし向きに関するところが明らかになっていないものでした。

長 弁答

町村合併については、5町村合併には反対をしているが、三厩村とは財政的なことやさまざまな問題を話し合いながら合併に向けて進んでいくということ、三厩村長にも理解を求めております。また、合併したときのメリット、デメリットについては、当町にとってメリットとなる部分は相手方にとってデメリットとなるものが多くなると思われ、今後の、さまざまな議論、協議をしながら合併に対するあり方を考えていきたいと思っております。

町民センター建設について

質問

町民センター建設を優先するのは、三厩村との合併を検討するならば国保税、介護保険はどうなるのか。メリット、デメリットを比べるに明らかになければならないと思います。そして最終的な合併の是非は住民投票で決めるべきと思うが、町長の所見を伺いたい。

介護保険について

質問

事業を優先的に進め、センター建設は町村合併の是非を決めてから町民の負担のないようにしていくべきと思うが、町長の考えを伺います。

長 弁答

町民センター建設については、町の財政事情がいま非常に厳しい状態にあることから、建設による町財政の圧迫や住民に負担をかけることは避けたいと考えているところであります。

福祉課長 弁答

3年経過した介護保険ですが町の現状では利用実績は増えてきており、保険給付額も同様に増えている状況です。さまざまな社会情勢や生活実態から保険料の引き上げは厳しく辛いものがあります。

しかし、現行のままでは介護保険事業が立ち行かなくなることをご理解願います。

高額医療費 受領委任制度の 実現を

問 医療費の引き上げで自己負担額が大幅に増えている

なか、高額医療費の立替え払い制度の利用者が増えているのではないかと予想されます。

今後は、高額医療費受領委任制度がいよいよ必要になってくると思われます。自己負担を超えた分を病院の窓口で支払うのではなく、病院が国保連合会から直接受けとれるようにしたら、患者さんたちの煩わしさも軽減され治療に専念できるものと考えます。さらには町の療養費負担の軽減にも結びつき、行政の業務の簡素化にもつながると思います。町の考えを伺います。

住民保険課長 答 ご要望の制度を導入しているのは県内では八戸市と

十和田市の一部の医療機関で実施している状況にあります。この制度実施に当っては医師会及び医療機関との十分なる協議を必要とします。さらに県及び国保連の助言や指導を受けながら導入方法等を調査・研究する必要がありますので、しばらく猶予をいただきたいと思えます。

教育問題 について

問 教育問題の1点目は2月14日に発生したといわれる

食中毒問題ですが、食材から菌は検出されないとか、感染によるものであるのか分からないというのでは多くの関係者、父母の不安は増すばかりだと思えます。こうした中で、食中毒と断定されたこととの関係者への説明責任が果たされているのか、さらに今後の対策と方針について答弁願います。

また、学校給食における米の地元産米の消費について、その後どのような検討がなされたか伺います。

第2点目は教育委員の欠員についてです。このまま欠員の状況を放置せず早急に補充をすべきと考えますが答弁を求めます。

第3点目は教育基本法の改悪についてであります。いま、教育基本法の「見直し」「改悪」をめぐ

る動きが進んでいるようですが、なぜ基本法を変えなくてはならないのでしょうか。また、「国を愛する心」を法律で規定するのは重要な問題です。「郷土や国を愛する心」は自然に育まれるもので法律が入り込むものではない

と思えます。教育長はこのような教育基本法の改革をどのように考えるのか伺います。

長井 町答 教育委員の欠員補充につきましては、教育行政を円滑に進めるためにも所定の委員数にすることは望ましいと考えており、選任には意欲を持って当たりたいと思っております。

食中毒のことに

問の学校給食の米については、地元産米を使いたいということと協議に入っております。

教育基本法は昭和22年に教育の基本理念及び基本原則について定める法律として制定されましたが、制定当時とは社会が大きく変化してきている実情にあります。今回の改正の内容等の資料をまだ入手していない状況であり、今後の国の動向と合わせて、教育委員会においても資料の収集に努めながら十分に協議し対応してまいりたいと考えております。

高齢者世帯に やさしい 除雪対策を

問 多くの高齢者が

冬場の除雪対策の不安を訴えていることから、高齢者世帯や障害者・病人のいる家庭への除雪作業時の配慮を求めるものです。玄関前に除雪の雪を大量に置いていくことのないよう配慮願いたいと思えます。

建設課長 答

除雪作業は決められた時間内にすばやく終了するよう指導しているもので、高齢者世帯や一人暮らしの世帯に対してはボランティア活動や、隣近所の付き合いの形のなかでの対処なども必要だと考えています。行政でできることは今後検討して参りますのでご理解願います。

農業経営・ 地域農業を守る 今後の対策

問 国産米供給を破綻させる政府の

「米政策改革大綱」やWTO農業交渉の成り行きでは地域の農業は破壊的打撃となる。基盤の弱い今別の農業にとつては大変な問題であると思うが、こうした事態の認識と今後の地域農業を守り発展させるための対策をどのように考えているのか伺います。

町の基盤整備事業は頓挫しているように伺っております。国の大規模圃場整備事業の制度活用は今別にはなじまないもの

と感じており、町単独で農業を守る基盤整備を推進する考えがないか伺います。

長井 町答

平成16年度から予定されている「米政策改革大綱」やWTO農業交渉において関税の大幅引き下げが実施されれば、地域の米農家は壊滅的な打撃を受けるものと考えられます。このような状況下

にあつて町では、担い手農家に対する農地集積を進めながら高収益性のある野菜の生産・副業農業に重点をおいた指導等により、農家所得の向上に努めていきたいと考えています。

基盤整備の町単独事業については、必要性は十分認識しているものの現在の厳しい財政状況下にあつてはすぐには取り組めない実情であります。

地域密着型の 風力発電の 活用を

問 これまでには

損得のはっきりしない第三セクターの営

業に、町が関わるべきでない」と主張してきたわけですが、今、戻ってくる資金の活用問題が急浮上しておりあります。これから小型風力の発電の活用を検討する時代であるとも言われ、わが町でもこうした事業の展開は追求すべきと考えますが、町長の所見を伺います。

長弁 第三セクターからは撤退するといふ形で進んでいるところですが、コンパクトな風力の活用については結構なことだと思います。町の公共施設にも取り入れるなど検討して見る必要があるかと思えます。ただ、騒音などの問題もあり多くの課題もあると考えています。

アメリカのイラク武力攻撃について

質問 アメリカはイラクが大量破壊兵器を開発保有している疑いを理由にイラクへの武力攻撃の準備を進めています。

国際世論を無視したこ

うしたアメリカの武力攻撃に反対し、査察の継続と強化で平和解決を求めていくべきと思うが、町長の所見を伺います。

長弁 戦争の悲惨さを体験している日本人はだれしも平和を望んでいることだと思います。武力による解決は望まないものです。

平山 順一 議員

嘱託職員の適正配置を

で対応するとあるが、この説明では今までの配置には誤りがあったということか。職員は適材適所の配置であってこそ業務の充実を図れるものと考え、嘱託職員についても適正な配置を望むものです。

長弁 嘱託職員の適正な配置については行政としても十分留意して当たっているところですが、正職員で可能な業務には嘱託職員を配置しないとは、町立体育館、荒馬の里活性化センター等の業務です。そのことにより嘱託職員は2、3名の減になることが予想されます。ただ、嘱託職員については有資格者などの条件もあり適正な配置ということには大変苦慮しております。

町民センター建設用地の確保と着工は

町民センター建設用地の確保と着工は

質問 町民センター建設については昨年度より計画がなされてきたが、町長は12月

議会で現段階では庁舎建設は財政上から難しいと答弁されている。そのようなことから建設用地確保と着工ということは、平成15年度の重点事項としてはなじまないのではないかと。

企画政策課長答弁 予算的には建設用地費や建設費については計上していません。しかし、今後の町村合併の進展、法定協議会が設置された場合における動向をふまえ、15年度中に建設が可能となった場合の想定や、町民センター建設のための目標施策として重点事項の中に明記したものです。

納期前納付報奨制度廃止等について

支障をきたすことにならないか。運営が厳しく納税組合が解散ということになれば、滞納者も増えることが危惧されるものです。

税務課長長弁 納期前納付報奨制度については、納税者の納税に対する積極的な協力を奨励することにより早期納税の確保を図ることと徴収事務の簡素化等を目的として、町民税及び固定資産税の納付に限定し、条例で交付規定を設けこれまで報奨金の交付を行ってきました。しかし、納税者の納税に対する理解と納税意識の高揚等により、自主納税の環境が整ってきたこと、東郡各町村の制度廃止の動向、町の財政事情等を検討した結果、平成15年度課税の納税分より報奨金の交付制度廃止を考えているものです。

質問 町の財政事情を考える財政改革の一環としてこの制度の廃止と説明されているが、滞納者の減少を目的として組織されている納税貯蓄組合等の運営に

障害者支援費制度開始に伴う対応

質問 身体障害者は健全者とは違い仕事上などで、人の知らない苦労が多いことをご理解願います。

そこで、心臓疾患の方が使用しているペースメーカーについて、装着の費用や医療費、闘病手当などが支給されているのか伺います。さらに、当町にはそのような患者がどの位いるのか伺います。

福祉課長答弁 平成15年4月1日から始まる障害者支援制度は、障害者福祉サービスの一部がこれまでの「措置制度」から「支援費制度」に移行するものです。ただし、更生医療費や舗装具の給付、日常生活用具の給付、重度心身医療費の支給については従来どおりであります。市町村は障害者に対する支援体制の整備に努めるとともに、支援費の支給や利用者負担額の決定を行うという役割を担うこととなります。

ご質問の内臓疾患による障害者の状況ですが、身体障害者手帳を所持する人の総数は1月現在で287人です。そのうち、内部障害による人は2割程度となっております。

県営ため池等施設整備について

質問 近年の農業は産業の中でも一番大変な時代に遭遇しており、わが町においても減反、休耕が今年もまた追加配分になったところでもあります。減反、休耕があっても米つくり農業こそがわが町の基幹産業と思うわけがありません。そこで、平成15年度重点事業として計画されている県営ため池等工事について、大川平頭首工、安兵衛川水路の着工はいつごろかお伺いします。

大川平に通じる水路の水の問題、安兵衛川水路は毎年のように地下部分で破裂し補修されていることから、一日も早い補修改良を望むものです。

農林水産課長答弁

県営大川平地区ため池等整備事業については、河川協議等の遅れから工事発注は平成15年8月ころ、完成は16年度となる予定でです。

また、安兵衛川地区については、青森県営事業により平成15年度着工、平成17年度内の完成を予定しております。

流雪溝整備と側溝整備等について

質問 現在の大川平地区の流雪溝は大変喜ばれており、排雪経費の節減にもなっているものと考えます。しかし、水の量が大きな問題であります。大川平の頭首工の完成なくしては水量の調整も難しいものと思われまます。しかし、側溝の水量は今までの半分以下くらいであり、水の流れが悪くなり流雪溝の機能が発揮できず雪づまりが発生するわけですから、水不足が原因であることは言うまでもありません。この水路工事について、

行政または地域受益者との間で十分な話し合いの上で施工されたものか伺います。

ご質問の水路については、国・並びに県の補助を受けて整備促進事業により施工したものです。現在、大川平地区に流入している既設水路の断面と同規格に整備していたり、大きく協賛して参りましたが、国の補助事業であるため規格・構造については耕作面積の受益面積によって決定されることから既設水路のようになり、断面にはできなかつた経緯があります。今後、県営ため池整備事業による頭首工の完成を待って水の状況を調査しながら、さらに検討して参りますのでご理解願います。

は街灯があつてこそ心強いものと考え、犯罪防止の役割も果たしているわけですから。各地区と地区の間の暗いところには電球の取付けをお願いするものです。

さらに、町で管理しているところは巡回、点検をし故障箇所を修理については速やかに対処していただくことを要望します。

総務課長答弁

町で管理している街路灯及び防犯灯は全体で289箇所あり、うち64箇所が水銀灯になっていきます。残りの225箇所が地区と地区との間にある防犯灯ないし街路灯です。これらの管理は年に2回ほど一斉に故障箇所を発見し、業者が一括修理してきた経緯があります。その他、地区総代からの申し出による箇所の修理も行つてきたところですが、ご指摘のように修理については速やかに行つていきたいと思つています。

集落と集落の間の防犯灯については、今のところ増設の計画はございません。

各施設収支状況と15年度収支見込は

質問 町の施設は町営スキーをはじめアスクルなど7施設ありますが、平成13年度と平成14年度の数字を見ると、町の全施設について減収となっているようです。スキー場などは一時期は大変なブームで賑わつたと記憶しています。最近では少子高齢化に伴いさまざま変化がでてくるようです。

このような状況から、平成15年度から各施設の減収をとりもどすための手立があるものか伺います。

ご指摘のとおり、町が管理している施設は近年の経済低迷に起因する来訪者の減や、気象状況に左右され収入が減つてきたものが多いです。

平成15年度の見通しとしては、東北新幹線の開通、「きららみちのく号」の運行による多くの来訪者を期待しているところ

道の駅「アスクル」テナント募集について

質問 最近の情報では、東北新幹線が青森まで完成と同時に北海道新幹線開業も浮上しているところでありま

す。そこで、津軽今別駅は青森以北の唯一の停車駅となることは2年前に県より承認されており、わが町においては津軽今別駅周辺は観光の目玉として取り組んでいく必要があると思つています。

このような状況の中で、道の駅「アスクル」の果たす役割も大きなものがあると考えます。テナントの募集をしているようですが、わが町の発展につながるような運営ができるよう要望するものであり、募集内容等について詳しい説明を求めます。

興振工課長答弁

道の駅「アスクル」については、平成14年度は入居者がなかったため町で運営して参りました。その実績から町で運営するより民間の方が運営した方が経済効果がより一層発揮できると判断し、テナント募集をしたところであります。

管理運営等の条件につきましては、町で運営して得た実績を基に現在の実情にあった条件を提示したものです。町としても、一層のPR等、情報発信による側面からの支援をして参りたいと考えています。

特別養護老人ホーム なかやま荘 について

質問

これまでもなかやま荘入居者への職員の対応等について質問しておりますが、職員間の交流を深め協調性を持って老人への対応に当たっていただく

ことを要望します。

15年4月から介護支援専門員の常勤配置が義務化され、当町でも資格所有者を配置するようだが、これについて、国・県の助成等があるものか伺います。

なかやま荘園長答弁

職員の勤務規律については、再三にわたり服務の徹底を促しており、今後とも十分に注意・指導をして参りますのでご理解願います。

介護支援専門員の配置については、平成15年4月からは常勤職員として配置しなければならぬ職員であるため、国や県からの補助金はありませぬ。

診療所の 要望事項等の 検討は十分に

質問

今別診療所の平成15年度要望事項として訪問診療用の車の配置など4項目、また協議事項として医師の送迎について出されていますが、財政上、大変

難しい問題であり十分な検討が必要と考えるものです。いうまでもなく、診療所は町民の健やかな健康を願ひ、健康管理に努めなければならぬことから、町としてのどのような対応ができるものか伺います。

住民保険課長答弁

毎月2回実施している町内の訪問診療については、現在、普通乗用車を配置して活動を進めているところですが、しかし、道路が狭隘のために進入できない地区もあることから、医師とも相談のうえ平成15年度要望事項に軽自動車の配置方を提示したものです。

協議の結果、平成15年度からは月2回の訪問診療と蟹田病院の医師の送迎に、環境福祉課の所管する軽自動車を活用することになりました。今後は診療所の業務に供すること、環境福祉課本来の活動業務に支障をきたすことのないよう、十分なる連絡調整を図っていきたく考えています。

町発注工事 について

質問

近年の不況に伴い公共工事の発注も減少されており、業者も働く人々も大変な状況であります。そんな中で町発注工事については、落札箇所、落札額に納得のいかない点があります。また、路盤資材など正規なものを使用しているものか、不正はなにか伺います。

建設課長答弁

さらに、工事番号18号の基盤整備促進事業は、現場責任者を議員が務めているようだが、議員兼職禁止法に抵触するものでないか伺います。

町発注工事については、指名参加願申請書から業者選定をし入札に参加いただいたており、公正な競争により入札が行われ落札しているものです。結果について町としては関与の余地はなく、業者との事前接触もなく落札者と契約を締結しており、公平に行われていることをご理解願います。路盤資材については、

規格等について承認願いを提出させチェックをしており、現場においても確認をしておりますので不正はないと考えます。

議員の兼業禁止については、地方自治法92条の2により議員は公共団体の請負をしてはならない、請負をする法人の役員になることを禁止し議会運営の公正を保障した条項でありますので、現場責任者については兼業禁止には抵触しないものと解釈しています。

食中毒発生時の 対応は

質問

今別町学校給食センターの給食が原因で食中毒が発生したことは、大変な驚きでありました。そこで、食中毒と断定された食材はなんであったのか、納入先はどこなのか、また、献立表の公開を求めるものです。

さらに、食中毒の発生後の対応等に遅れがなかったのか伺います。

長井 教育 答

食中毒発生後の対応については、2月15日の朝に情報が入った直後に病院と連絡をとり発症者の把握に努め、同時に役場と連携し保健所に緊急の調査を要請しております。その日のうちに保健所では給食センターの立入り調査をし検査と調理員や発症者の検便を行っております。検便の結果が2月18日に出て、発症者の児童から小型球形ウイルス(SRSV)が検出されたこと報告を受けたものです。このことを受けて保健所の指導により、学校に対し消毒を実施し、保護者へ予防の協力方を願ひしております。

学務課長答

食中毒と断定されたのは、発症者がいずれも今別町学校給食センターで調理

した給食を食べたていたことからあります。食材ということではなく、センターが調理提供した食品を原因とする食中毒との断定であります。

町村合併に ついてその後の 対応は

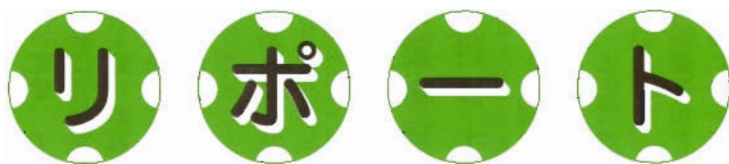
問

2月20日の議員全員協議会において、町長は合併について三厩村長との間でかなり進んだ話がされているような説明でありました。合併に賛成する一人として、町村合併は小鹿町長の政治手腕を発揮するところと期待しているものであります。そこで、合併に向けその後の三厩村との話し合いはどのような感じなのかお伺いします。

長井 町答

町村合併ということでは三厩村の柳谷村長とは公式に2度お会いしています。

その他、機会あるごとに話をしており、よい方向へ進んでいけるよう努力して参りますので、皆様方のご協力をお願いいたします。



青森地域広域 事務組合

平成15年度

◎一般会計予算

16億9937万円

◎公立大学特別会計予算

18億9626万円



用を図るとともに、ごみの減量化を促進していきます。

◎青森地域広域事務組合 管理者 佐々木誠造（青森市長）

議員25名（うち今別町2名）

事務組合の清掃業務については、近年の地球温暖化に伴う環境破壊が世界的規模で進みつつあり環境保全が大きな社会問題となつてきております。

一般廃棄物については構成市町村一体となつて有価資源物としての再利

る経費8、032万余円
介護認定審査会運営費9、427万余円

町村圏基金運用収入909万余円
また、その他の収入として、施設使用料、繰越金等を計上した。

◎公立大学特別会計

平成15年度当初予算は18億9、626万余円

また介護認定審査会事務については、要介護者に対する介護保険制度の円滑な運用に資するため引き続き要介護認定の公平・中立を確保するとともに、その社会的信用を高めるべく努力していくこととした。

平成15年度当初予算は16億9、937万余円となり平成14年度当初予算に比較して6・9%の増となった。

その要因としては、し尿処理施設等の建設にかかる長期債の償還開始に伴う公債費の増によるものであります。

▽歳出の主なものとして総務費組合運営費に要す

平成15年度当初予算は16億9、937万余円となり平成14年度当初予算に比較して6・9%の増となった。

その要因としては、し尿処理施設等の建設にかかる長期債の償還開始に伴う公債費の増によるものであります。

▽歳入として、構成市町村からの負担金15億4、247万余円、一般廃棄物保管施設建設事業に係る組合債5、130万円、青森地域広域ふるさと市

また、一般廃棄物処理基本計画策定費を措置したほか適地選定調査費を措置、また平内清掃工場の解体撤去のための財産処分承認申請図書作成費を措置した結果、総額で6億9、637万余円。また、青森地域広域ふるさと市町村圏基金の果実の運用により事業を行う広域市町村圏振興費（広域情報ネットワーク推進事業、広域観光推進事業、スポーツ・イベントの開催等）1、497万余円、公債費8億91万余円

▽歳入として、青森学術文化振興財団からの公立大学研究費助成交付金1、698万円、構成市町村負担金9億8、252万余円、使用料及び手数料として、授業料、入学検定料及び入学金7億2、183万余円、交流施設管理業務受託収入1億972万円、財産収入9、276万余円

青 森 地 域 広 域 消 防 事 務 組 合

平成15年度

◎ 一般会計予算

41億2606万円

平成15年度予算総額42億5、271万8千円

歳入の主なものとして
は、分担金及び負担金38億2、652万6千円計上、各市町村の分担額については、青森市33億4、222万5千円、蟹田町1億1、987万6千円、今別町1億4、404万3千円、蓬田村6、179万5千円、平館村6、155万7千円、三厩村9、703万円となっております。

消防防災設備補助金672万2千円、県支出金につきましては、石油貯蔵施設立地対策等交付金1、882万6千円、諸収入につきましては、青森市から委託を受けております青森市消防団業務運営費等2億3、417万4千円、組合債3千150万円を計上した。

歳出の主なものは、議会費206万円、消防事務組合運営費及び高速道路救急業務費並びに監査委員費1億475万円、事務組合管内の消防業務運営費38億9、195万9千円を計上した。また、青森市から委託されている青森市消防団運営費については、消防団の運営費のほか、消防団の装備施設の充実を図るため、消防ポンプ自動車及び小型動力ポンプ付積載車等の購入に要する経費として、2億1、693万円を計上した。

修 研 及 び 情 陳

2月24日、町長・議員一行が本県選出の衆・参議院の各議員に本町懸案事業の促進について要望しました。

①国道280号（奥平部～大泊）は、当町海岸線の沿線住民にとっては生活を支える唯一の道路として動脈的な役割を果たしております重要路線であり現在工事が進められております。

当町は、津軽国定公園をはじめ、恵まれた自然を活かし、半島地域の活性化を推進しているところであります。

つきましては、道路予算の確保が非常に厳しい状況下とは存じますが、残る区間の一日も早い整

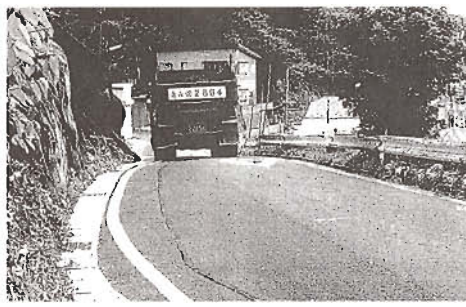
備促進が図られるよう格別のご高配を賜りたくご要望申し上げます。

②当町の海岸事業については、県及び関係当局の御努力により、これまで海岸浸食対策事業等により整備されてまいりました。

しかしながら、大泊海岸（与茂内地区）の未着工区域は、低気圧及び季節風に伴う波浪により越波が激しく、海岸の浸食が年々加速化しており、たびたび国道が被害を受け通勤通学者、観光客はもとより一般車・観光バス等の通行、さらには、地区住民の日常生活に深刻な影響を及ぼしているところであります。



▲巽月地区



▲砂ヶ森地区



▲現在の大泊海岸



▲県選出国會議員陳情

津軽海峽線「津軽今別駅」付近に新幹線駅として「奥津軽」駅が関係機関の御努力により決定されたところであります。当町では、「新幹線駅及びカートレイン・ターミナルと地域整備計画（平成11年3月）を策定し、「奥津軽農村公園」や観光物産館「道の駅アスク」の整備など、駅前広

ます。「青函カートレイン・ターミナル」基地が「奥津軽」駅周辺に設置されることにより、青森県及び津軽半島地域全体の起爆剤としての期待と相乗・波及効果が大きいに期待されることから、是非、当町に「青函カートレイン・ターミナル」基地を設置して下さるよう、特段の

1. 国道280号（奥平部く大泊）の整備促進について

2. 大泊海岸（与茂内地区）の整備促進について

3. カートレイン・ターミナルの設置について

つきましては、当海岸の実情をご賢察いただきまして、早期に大泊海岸（与茂内地区）を浸食対策事業として採択していただき、整備促進されるよう特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

「青函カートレインの整備促進は、わが国の貴重な財産である「青函トンネル」をより有効活用することによって、本州と北海道間に新たな道路的功能が生まれ、21世紀における東北・北海道の発展に大きく寄与するものと期待されているところであります。



▲大泊海岸与茂内地区

場整備事業の推進に努力しているところでござい

御高配を賜りたくお願い申し上げます。



▲県選出国會議員陳情

国道280号（鬼泊トンネル）の改良整備について

2月14日、今別町・平館村、三厩村両町村長、議会議長・副議長、関係常任委員長により、国道280号（鬼泊トンネル）の改良整備について県土整備事務所へ要望しました。



▲県土整備事務所陳情

国道280号は、青森市から三厩村に至る幹線道路であり、沿線住民の生活を支え、また、津軽国定公園をはじめ恵まれた自然を活かし、半島地域の振興と活性化を図ると

もに、広域観光ルートを形成する重要な路線であります。しかしながら、当該トンネルは大型車（観光バス、保冷車、コンテナ積載車）がトンネルの壁にぶつかると通行に大変支障をきたしております。つきましては、実情をご賢察のうえ、当該トンネルの改良整備を早期に実施していただきますようお願い申し上げます。



▶平館方面から

申し上げます。

秋 田 県 小坂町を視察

議会広報委員会

議会広報委員会は2月6日、秋田県小坂町議会を訪ね、議会広報の編集全般を研修しました。

小坂町議会において、住民による議会の傍聴が非常に少なく、議会の使命として、町民による議会・町政に対する関心、理解を深めることに使命感をいただき発刊に踏み切った。

平成8年3月の改選時において、新人6人が当選、5人の新人が議会運営委員会に所属した際、議会全体の取り組みとして議会広報を発刊すべき旨を議会全体が了承し、平成8年度については、1年間の調整研究をおこなうべく、県内の広報発

刊状況や議運の事務調査と併せ、議会報の調査研究をおこなった。

平成9年3月議会を基に4月26日に創刊号を発刊、現在23号に至っている。

編集作業の手順は、次のとおりです。

①議会の初日に第1回目の編集企画会議を開き、ページ数、内容、担当を決める。

②一般質問の担当者は、質問者に原稿用紙を渡し750文字以内で質問要旨を質問者本人が原稿をつくり、編集委員会に寄稿する。

③定例会終了後、第2回目の編集会議を開催し、編集員が仕上げた記事内容及びレイアウト用紙をパソコン打ち込み担当者が預かり、任意のゲラ紙面を完成させる。

④任意のゲラ紙面が完成した段階で、第3回目となる編集会議をおこない、字句の訂正やレイアウト校正をおこなう。

⑤編集委員会において、任意のゲラ紙面が合意を得たことにより、印刷業

者に印刷を依頼。その際、紙面すべてのデータをテキストデータに返還し、フロッピーディスク及び任意のゲラ紙面を業者に渡す。これにより業者による初稿印刷は任意のゲラ紙面と同様のものが仕上がる。

⑥業者からの初稿判は各担当者がチェックを入れ再校を経て印刷がされる。

⑦町の広報が毎月10日・25日に発行されることに合わせ、議会報は前日の24日までに製本を完成させ、編集委員自らが自治会部数毎に広報整備備棚に振り分け作業をおこない任務を終了する。

小坂町では、議会広報編集委員会が担当を決め自ら編集作業をしており、大いに見習うべきものがありました。



▲広報編集会議

●1月8日第339回臨時会が召集され、付議案件として、スクールバス売買契約について議題といたしました。

1. 契約の目的

スクールバス(1台)

2. 契約の方法

指名競争入札による契約

3. 契約の金額

1、437万4、500円

4. 契約の相手方

青森いすゞ自動車(株)

(可決)



▲スクールバス全影及び内装

臨時議会

第339回 (平成15年 1月 8日)
第340回 (平成15年 2月20日)

●2月20日第340回臨時会が召集され、付議案件は次のとおりです。

1. 災害復旧事業の施行について専決
平成14年8月の大雨による農地・農業施設に対する被害復旧事業として施行するため専決したものを。

2. 平成14年度一般会計補正予算専決
歳入歳出にそれぞれ81万3千円を増額し、予算総額30億3、677万6千円とした。

歳入として、災害復旧費補助金584万3千円、農業用施設災害復旧事業債230万円。

歳出として、青森地域消防事務組合負担金54万5千円減額、災害復旧事業の工事請負費982万円。

3. 平成14年度水道事業会計補正予算専決
今別浄水場の総配水流量計が老朽化により表示不能となったため取替えをするため204万8千円を増額補正した。

(以上専決3件承認)

4. 今別町職員の旅費支給条例の一部改正
東北新幹線八戸駅開業に伴い、津軽海峡線を運行する列車がすべて特別急行列車となったため、津軽今別駅を利用した場合の適用距離を45キロメートルに改正するためのもの。

5. 青森県市町村職員退職手当等組合規約の一部変更
青森県市町村職員退職手当等組合の事務所の位置及び構成団体の名称を変更することに伴い関係地方公共団体の議会の議決を要するためのもの。

6. 青森県市町村職員退職手当等組合のホテルアーデン事業廃止に伴う財産処分について
平成15年3月31日をもってホテルアーデンの事業を廃止することに伴い、その財産の処分について関係地方公共団体の議会の議決を要するためのもの。

7. 平成14年度一般会計補正予算
総合行政電子化基盤整備事業工事請負負担費40万3千円、備品購入費38万2千円、災害復旧費では、公共土木災害復旧事業の進捗状況に伴い所要の額を調整した。

その財源として予備費で、調整、一般会計の総額に変更はない。

(以上4件可決)

議会のうごき

15年1/1~3/31

1月

- 8日 総務文教常任委員会・議会運営委員会・臨時議会
- 11日 町新年会
- 14日 交通事故2,000日達成感謝状授与式
上磯地区清掃施設運営協議会
- 24日 文化・スポーツ賞 授与式・町福祉スポーツ大会

2月

- 2日 二股小学校閉校式
- 3日 産業建設常任委員会
- 4日 今別・三厩両町村議会議員役員会
- 5日 東郡町村議会議員研修会
- 6日~7日 議会広報委員会研修
- 12日 今別・平館両町村議会議員交流会
- 13日 総務文教常任委員会
- 14日 県土整備事務所陳情
- 17日 今別・三厩両町村議会議員交流会
- 18日 町社会福祉大会
- 20日 議員全員協議会・臨時議会
- 21日 東郡町村議会議長会総会
- 24日~25日 県選出国會議員・関係機関陳情
- 26日 県議会議長会総会

3月

- 1日 今別高校卒業式
- 3日 議会運営委員会
- 7日~13日 第341回定例会
- 12日 今別中学校卒業式
- 18日 東郡議会議長・事務局長会議
- 20日 管内小学校卒業式
- 24日 町民センター建設特別委員会
- 27日 議員全員協議会

表彰

このたび、当町議会が優良町村議会として全国町村議会議長会から表彰されました。

また、永年勤続議員として青森県町村議会議長会及び全国町村議会議長会より次の議員が表彰されました。

優良町村議会

貴議会は地方自治の本旨にそって議会運営の向上に努めもって住民福祉を増進した功績はまことに顕著であります。よってここに表彰します。

平成15年2月7日
全国町村議会議長会



表彰を受ける嶋中議長

全国町村議会議長会



嶋中 春光 議員

(勤続30年以上 議長職4年加算)

全国町村議会議長会



阿部 修吾 議員

(勤続15年以上 副議長2年加算)

青森県町村議会議長会



佐藤 豪 議員

(勤続27年以上)

議会事務局 職員異動

四月一日付け
事務局 長 中嶋 利 治
(農林水産課長から)

事務局総括主幹 木津 歌 子
(学務課総括主幹から)

中央公民館総括主幹 工 藤 明 美
(事務局総括主幹から)

定 年 退 職 澤 田 嘉 男
(事務局長)

三月三十一日付け



町長の平成15年度の施政方針の中で就任以来の課題である町民センター建設と町村合併の問題について説明がありました。町民センターの建設については、町の財政事情が想像以上に厳しい状況にあり、また、地方交付税の削減も想定した以上の金額となり、建設経費の削減に努め、建設のメドを立てましたが、県との協議の中で町村合併の動向を見据えたところの計画を求められ、15年度当初予算に計上出来ない状況となった。

町の合併問題住民研究会で実施した住民アンケートの結果を踏まえ、隣接町村の動向を見ながら今別町の存続にかかわる問題でもありますので、議員、町民の意向を聞きながら適切に対処する。いづれにしても、地方公共団体の行財政状況は今以上に厳しさを増しておりますので経常経費の削減、見直しは勿論、町の財政構造の改革や行政機構の再編も急務でありますので今後の町政に期待したい。